

昭和63年6月

1988年 ルマン24時間レースへの 参戦について

トヨタ自動車㈱は、昨年と同様トヨタチームトムスを支援し、6月11日、12日に開催される「第56回 ルマン24時間レース」に参加します。'85年に初挑戦して以来、今回で4回目の参加となります。

参加車両は、ミノルタカメラ㈱と㈱タカキューのスポンサーにより、今回2台のトヨタ88Cをエントリーしております。このブルーとブラック&イエローのトヨタ88Cは、'87年の国内耐久レース全6戦のうち、富士及び鈴鹿両1000KMレースを制したトヨタ87Cを、ルマン24時間レースに向けて一層熟成させたマシンで、搭載エンジンは2140CC(ツインエントリーターボ付き)という、Cカーでは世界で最も小排気量といわれるのですが、空力特性を徹底的に追求したボディー、シャシーとのベスト・マッチングにより、優れた動力性能、燃費性能とともに、高い耐久性を誇っております。

これに加え、トヨタチームトムスは、ルマン24時間レースをはじめとする耐久レースでの経験をもつ優秀なドライバー陣、さらにみごとなチームワークをみせるスタッフ、メカニックにも恵まれております。

ポルシェをはじめ、ジャガー、ベンツなど、並いる強豪チームに互して、必ずや素晴らしい成果を収めてくれるものと期待しております。

皆様の温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

以上

お問い合わせ先：第2東京広報課 大原・渡辺・村上 ☎ 03-817-9128

(株)トムス、トヨタチームトムス概要)

株トムスは74年、元トヨタワークスドライバー館信秀が、同じくワークスドライバー大岩湛矣らと設立したトヨタ車のチューニングショップである。主にエンジンを中心としたツーリングカーのチューンアップやレーシングパーツの開発、販売を行なって、着実な発展を続けてきている。

また、会社設立と同時に、トヨタ自動車のバックアップのもとにレース活動を開始し、国内外の数多くのレースに参加し、優秀な成績をあげている。特にマカオGP、マレーシアGPなど東南アジアでの活躍は目覚ましく、今日のトムスの地位を確固たるものにした。

80年には、㈱童夢との初プロジェクトとして、童夢セリカターボを共同製作、グループCによる耐久レースに参加、セブリング12時間レース、リバーサイド6時間レースに出場した。

その後、82年よりトヨタ製レース用エンジンを搭載したグループCレーシングカーの開発を開始し㈱童夢との協力体制のもとに、トヨタ童夢セリカC(82年)、トヨタトムス83C(83年)、同84C(84年)、同85C(85年)、同86C(86年)、トヨタ87C(87年)、同88C(88年)と、毎シーズン製作している。

87年に、トヨタ自動車㈱のワークスチームとして「トヨタチームトムス」を結成、国内耐久レースで2勝を挙げるなど、その実力を示した。

本年度は、成熟を重ねた3S-GT(改)エンジンを搭載したトヨタ88Cをもってルマン24時間レースに挑戦する。

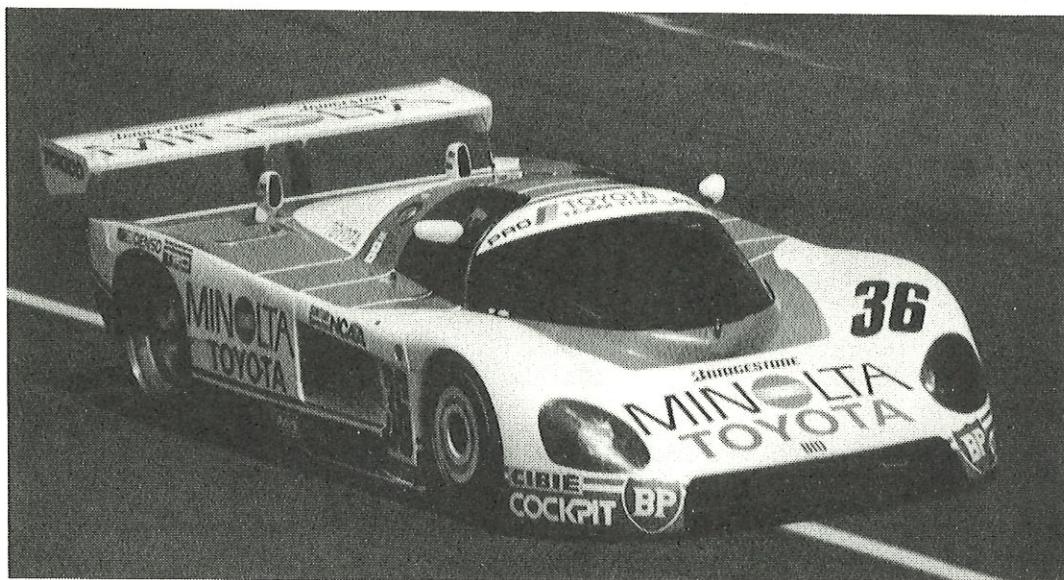


館 信秀 (1947年生)

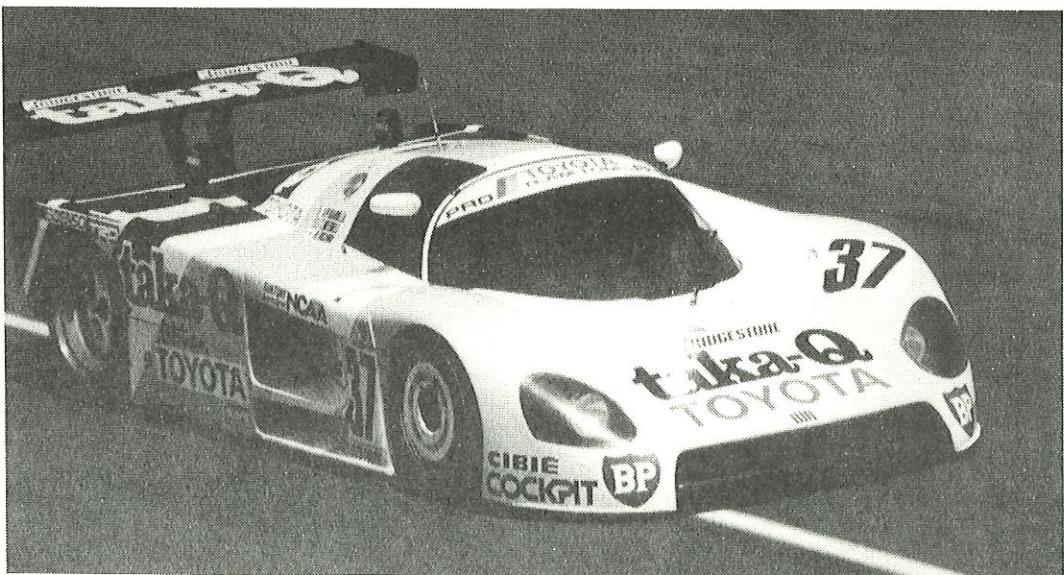
1965年にトヨタパブリカでデビューし、1970年よりトヨタ専属ドライバーとして活躍。1974年(株)トムスを設立し、トヨタ車チューナーとして成功。現在、トヨタチームトムスの監督として、優れた能力を発揮している。

(㈱トムス、トヨタチームトムス ル・マンへの挑戦)

- '80年 竜夢との共同開発のセリカターボでルマンを試走、本戦には不出場。
- '85年 国内耐久レースで活躍しているトヨタ製レース用エンジン4T-GT
(改)搭載のニューマシン、トヨタトムス85C-Lで、ルマン24時間レースに初挑戦。並みいる強豪チームを相手に健闘し、完走総合12位という素晴らしい成績を収めた。
これは、日本人ドライバーのみによる純日本製Cカーでは、最高の成績であった。
- '86年 前年出場したトヨタトムス85C-Lを龍夢と共に改良、トヨタトムス86C-Lで再びルマン24時間レースに挑戦したが、惜しくもリタイアした。
- '87年 トヨタ自動車㈱と協力し、トヨタチームトムスを結成。トヨタ製レース用エンジン3S-GT(改)搭載のトヨタ87C、2台をもってルマンに挑戦したが、惜しくもリタイアした。
- '88年 トヨタ87Cを熟成、改良を重ねた、トヨタ88C2台をもってルマン24時間レース上位入賞を狙う。



ミノルタトヨタ88C



タカキュートヨタ88C

トヨタチームトムス参加スタッフ

参加車両 トヨタ88C 2台

ドライバー No.36
ミノルタトヨタ88C No.37
タカキュートヨタ88C

ジェフ・リース パオロ・バリラ
関谷 正徳 ティフ・ニーデル
星野 薫 小河 等

スタッフ チームディレクター 館 信秀
マネージャー 大岩 滋矣
(カ-No. 36) 今西 豊
マネージャー 山田 淳
(カ-No. 37) 渡辺 武彦
チーフメカニック
(カ-No. 36)
チーフメカニック
(カ-No. 37)

ミノルタトヨタ88C ドライバーズ・プロフィール

ジエフ・リース (Geoff Lees)
1951年5月1日生 37歳 国籍 イギリス

1972年、20歳の時よりフォーミュラ・フォードに乗りレーシング・ドライバーの道を歩み始めた。シーズン4年目の1975年には、40戦中33勝という驚異的な記録を残して注目を集めた。

76年には、F3にステップ・アップした。

78年からはヨーロッパF2シリーズに参加し、アメリカのカンナム・シリーズにも出場している。79年にはドイツGPでF1を初ドライブした。そして、80年に世界F1グランプリ・シリーズにシャドウチームおよびセオドールチームのドライバーとして参戦。

81年、再びヨーロッパF2選手権シリーズにラルト・ワークス・チームより参戦し、活躍。その年のヨーロッパF2チャンピオンの座に着いた。

82年はF1シリーズに戻り、セオドールチームおよびロータスチームのドライバーとして参加。また、ルマン24時間レースにも、アストン・マーチンで初挑戦した。

83年には日本に滞在、F2シリーズで活躍、年間4勝をあげ全日本F2シリーズのチャンピオンを獲得した。

トムスとは、86年より契約、国内耐久レース、ルマン24時間レースで活躍し、87年の国内F3000シリーズに参加している他、全日本スポーツプロトタイプカー耐久選手権では、トヨタチームトムスのドライバーとして出場した“富士1000Kmレース”“鈴鹿1000Kmレース”において優勝を飾っている。

今年もチームの中心ドライバーとして、国内耐久、ツーリングカーのステアリングを握り、ルマン24時間レースにも出場する。

関谷 正徳
1949年11月27日生 38歳 国籍 日本

1971年22歳の時に富士500Kmレースでデビュー。ツーリングカーを中心に活躍してきた。77年には富士マイナーツーリングカーチャンピオンを獲得している。

79年にはマツダ・ファクトリー・チームドライバーとして活動した。81年には、英国に渡り、フォーミュラ・アトランティックに出場し、6戦のうち5戦入賞し、その実力を高く評価された。トムスとは、83年より契約を結び、ツーリングカーをはじめ、グループCカーを中心ドライバー活動をおこなっている。

特に、85年、86年、2年連続で、ルマン24時間レースに出場、85年は、日本人として初めての完走、12位という素晴らしい成績をおさめた。

87年は、トヨタチームトムスのドライバーとして、全日本スポーツプロトタイプカー耐久選手権に出場、“富士1000kmレース”及び“鈴鹿1000Kmレース”において、優勝のチェックフラッグを受けている。

また、ルマン24時間レースにも出場し、決勝前日にサーキット内で結婚式を挙げ話題を呼んだ。

本年4回目のルマン24時間レース挑戦を果たす。

星野 真
1947年9月21日生 40歳 国籍 日本

20歳でモータースポーツ界にデビューした。ツーリングカーを中心に活躍。特にトヨタ車をドライブして、78年と84年の2回富士マイナーツーリングカーチャンピオンを獲得した。

トムスとは、82年以来の契約。貴重なドライバーとして、ツーリングカーやグループCカーで活躍しており、そのいきのいいドライビングには定評がある。

85年には、ルマン24時間レースにトヨタトムス85C-Lにて出場。日本人初の完走、総合12位となった。また、この年、全日本ツーリングカー選手権レースに、トランピオチームより出場、総合優勝を果たしている。

87年は、全日本ツーリングカー選手権を中心に活躍している。

本年もツーリングカーのチームドライバーとして参加している。ルマン24時間レースは、昨年に続いての出場。

タカキエートヨタ 84C ドライバーズ・プロフィール

パオロ・バリラ (Paolo Barilla)
1961年4月20日生 27歳 国籍 イタリア

1975年レーシングカートに参加、翌76年にはイタリア レーシングカート チャンピオンとなった。

81年からは、F3にステップアップし、イタリア選手権に参加、2勝をあげた。

82年には、F2のヨーロッパ選手権に参戦 83年からはランチアチームに参加し、世界スポーツプロトタイプカー選手権に出場、84年にはランチアワールクスチーム のドライバーとして好成績をあげた。

85年には、ヨーストチームに参加、ルマン24時間レースで優勝した他、米国 IMSA-GTPシリーズで活躍。

昨年はF3000に出場しヨーロッパを転戦した。

88年より、トヨタチームトムスに参加、全日本スポーツプロトタイプカー耐久選手権にて活躍、ルマン24時間レースにも出場する。

ティフ・ニードル (Tiff Needell)
1951年10月29日生 36歳 国籍 イギリス

1971年、19歳の時よりフォーミュラ・フォードに乗りレース界にデビュー。4年目の1975年には、タウンゼント・トーセン・チャンピオンシップに優勝し76年には、2000ccクラスでシリーズタイトルにまであと1ポイントにせまる成績をあげた。

77年、プロに転向。ユニパートチームよりF3に参戦、78年には、ネルソンピケらに続き、シリーズ4位にはいった。

79年、英国F2シリーズに転向、初戦で2位に入る健闘をみせた。

81年、フォーミュラカーレースから耐久レースに転向、ルマン24時間レースを皮切りに各地を転戦。86年には、クレーマ・ポルシェチームの一員としてシルバーストーン1000kmレースに出場。3位に食い込んだ。

86年は、この他、世界スポーツプロトタイプカー選手権各戦に、アストンマーチン、ランボルギーニ、トヨタの各チームで参戦している。

日本では、79年、ルマンチームに参加し、F2シリーズに出場している。

また、83年には童夢チームに、また、84~85年は、チームイクザワに参加し、トヨタエンジン搭載の耐久マシンで全日本スポーツプロトタイプカー耐久選手権に出場。富士1000kmレースで3位という結果を収めている。

昨年は、ルマン24時間レースにトヨタチームトムスのドライバーとして参加。

本年も国内耐久で活躍している他、ルマン24時間レースにもチームドライバーの一員として参加する。

小河 等
1956年2月15日生 32歳 国籍 日本

1979年 FL500にて鈴鹿シルバーカップレースにデビュー。

81年には、F3に、82年には、F2にステップアップし、活躍してきた。

耐久レースには、85年、レイズレーシングからトヨタ84Cにて出場している。

86年は、グループCカーの他、全日本ツーリングカー選手権にカローラレビンに乗り全戦出場している。

87年には、トムスよりF3(ラルトRT31トヨタ)に出場し、シリーズ2位となった。

本年は、F3000に参戦している他、国内耐久、ツーリングカーレースのチームドライバーとして活躍中。ルマン24時間レースには、初出場。

トヨタ 88C 車両概要

〔エンジン〕

型 式	トヨタ 3S-GT改
種 類	直列4気筒 DOHC (16バルブ)
ター ボ チャージヤー	トヨタ製 (CT44ST)
ボア×ストローク	89.0 × 86.0 mm
総排気量	2,140 cc
燃料供給方式	EFI
圧縮比	7 : 1
最高出力	680 ps / 8500 rpm
最大トルク	65.0 kg·m / 5,500 rpm

〔ボディ & シャシー〕

寸法	全高	1,040 mm
	全長	4,625 mm
	全幅	1,990 mm
	ホイールベース	2,700 mm
	トレッド前／後	1,600 / 1,575 mm
	車両重量	850 kg以上
	燃料タンク	98.5 ℥
	トランスミッション	85T (マーチ社製)
	クラッチ	ボーグ&ベッグ トリプルプレート
サスペンション	前	ダブルウィッシュボーン／アウトボード コイルスプリング
	後	ダブルウィッシュボーン (ロッキングアーム式) / インボード コイルスプリング
ブレーキ	前	ロックード 14インチ、ベンチレーテッドディスク
	後	"
タイヤ & ホイール	前	320 / 30R17
	後	340 / 40R19